

IB生のための



Vol. 1
2020 July

EDUBAL Magazine

あまり聞けないIB卒業生の大学受験のスケジュール！

IB卒業生のCAS・EE 特集

大学で活躍中のIB先輩をインタビュー

【特集】一條校出身IB生に人気の大学は？



IBの先輩3人はどう過ごした? DP2年間のタイムライン

◆ K先輩の場合（海外大学のみ受験）



大学： イェール大学

高校： Li Po Chun United World College of Hong Kong

受験方法： 海外大学受験

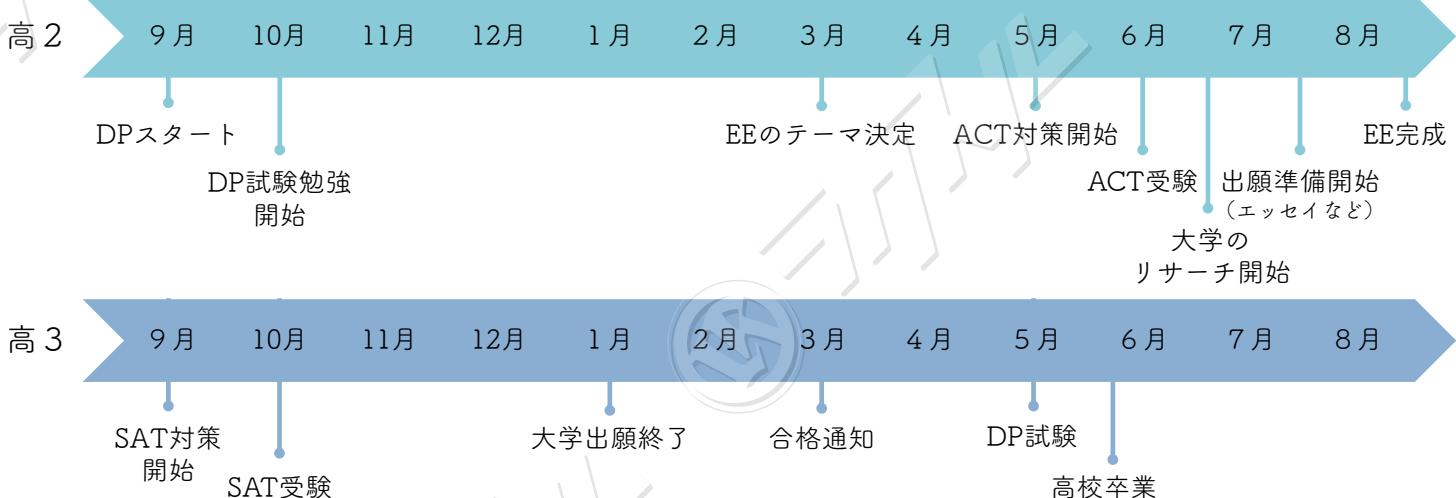
高校での課外活動：

ロッククライミング、African drumming entrepreneurship club

忙しい時期、どのように勉強と課外活動を両立していましたか？

忙しい時でもそうでない時でも長期的なプランと短期的なプランを立てるようにしていました。長期的なプランは1・2ヶ月先のスケジュールを見るようにして、短期的なプランは1週間や1日にやるべきことを優先順位と時間を測ってプランを立てていました。また、睡眠をしっかり取る事、カフェインを取りすぎないことは特に気をつけていました。

選択科目 : English B HL Math HL Economics HL Biology SL Mandarin ab initio SL Japanese A SL



⑤ 佃先輩の場合（海外・国内大学を受験）



大学： パリ政治学院

高校： 福岡インターナショナルスクール

受験方法： 海外大学受験、AO/IB受験

高校での課外活動：

ピアノリサイタル、老人ホームでボランティア、ビーチクリーン、ネパールの中学校で英語指導、バレーボール

忙しい時期、どのように勉強と課外活動を両立していましたか？

時間は毎日24時間と限られていて、そこから寝る時間、ご飯を食べる時間や自由時間などを逆算して残った時間を無駄なく有効的に過ごすことを意識していました。ケータイのアプリを消したり、パソコンでYouTubeを見る時間を制限したりと工夫しました。また、忙しくても自分のしたいことをする時間を設けることでモチベーションを維持していました。

選択科目 : Japanese A HL English B HL Economics HL Business & Management SL Math SL Chemistry SL

高2 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

DPスタート CAS/課外活動

EEのテーマ決定 大学のリサーチ開始 出願準備開始(エッセイなど)

高3 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

EE完成 DP試験勉強開始 IELTS受験 DP試験 高校卒業 大学出願終了 国内大学出願終了

IB生の高校最後の2年間は勉強や課外活動、受験準備などやることが山積みでスケジュールがとても立てにくいと思います。そこで今回はIB卒業生の高校2、3年生の時のタイムスケジュールについてインタビューしました。現DP生、またこれからDPを始める生徒の皆さんはぜひ参考にしてみてください。

杉本先輩の場合（国内大学のみ受験）



大学： 早稲田大学

高校： 玉川学園高等部

受験方法： AO受験

高校での課外活動：

英語劇部、ランニング、バスケ、アルティメット
ドッグシェルター、自然保護活動

忙しい時期、どのように勉強と課外活動を両立していましたか？

私は体を動かすこと好きなので、週末にCASの活動を入れて、それに合わせて課題をこなしていました。週末の時間がなかった分、電車に乗っている間に書いたり、休み時間にも勉強するなどして、スキマ時間に課題をこなすこと意識していました。何かやりたいことを週末に入れておくと課題を終わらせるモチベーションになると思います！

選択科目： English A HL Japanese A HL History HL Economics SL ESS SL Math Studies

高2 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

DPスタート
CAS活動開始
大学のリサーチ開始・オープンキャンパス参加開始
TOEFL受験
EEのテーマ決定
AO受験対策の塾に入塾

高3 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

EE完成
出願準備開始（志望理由書など）
Mock Exam
DP試験勉強開始
DP試験
大学出願終了
合格通知
高校卒業

海外大学・国内大学それぞれ違う、受験準備

海外大学と国内大学ではそれぞれ違う大変さがあると思います。今回インタビューした3人の先輩のタイムラインを参考に具体的に何が大変なのか？どのように工夫すると良いのか？についてまとめました。

【海外大学】

海外大学を受験する際はほとんどの場合、IBスコア以外にもSAT・ACT試験のような学力試験、またはTOEFL・IELTSといった英語試験の受験が必要です。IBの課題をこなしながら大学のエッセイを書き、他の試験の勉強をしたりするのは海外の大学を受験する上で大変なことの一つです。今回インタビューしたK先輩は高校3年生のDP試験や出願で忙しくなる前の高校2年生の時にすでにACTの試験を受け始めています。早い人は試験の対策を高校1年生の頃から始めているそうです。可能な限り、大学出願に必要な学力試験の対策は早めに始め、DPが忙しくなる前に試験を受けることで高校3年生の忙しい時期が少し楽になると思います。TOEFL・IELTSも対策は早く始めた方がいいですが、こちらはDPをやっていくうちに自然と英語力が付くこともあるのでSAT、ACTよりも後に受ける人が多い傾向があります。

【国内大学】

国内の大学を受験する際に特に大変なのは出願時期が海外大学に比べて早く、高校3年の秋頃からとても忙しくなるということが挙げられます。これはExtended Essay (EE) やIAの提出時期、11月にDP試験を受ける生徒はDP試験の勉強の追い込みシーズンと出願が重なるからです。したがって、DPの課題をこなしながら、大学に提出するエッセイを書いたり、筆記試験・面接準備をする必要があります。今回インタビューした3人の先輩は全員、大学のリサーチを高校2年の秋頃にスタートしています。早めに志望校をある程度決めておくことで、TOEFL・IELTSなどの英語試験が必要か？エッセイを提出しなければいけないのか？面接はあるか？などの細かい入試方法を知り、事前準備を早い段階で始めることができます。国内大学を受けることを考えている生徒さんは高校3年生の秋ごろはとても忙しくなるということを頭に入れ、早い段階で入試準備を始めるなどの対策を取ると出願前に少し余裕ができると思います。

Extended Essay・CAS特集



岩窪先輩

大学: 一橋大学

高校: Frankfurt International School

CAS

1. CASと普段の勉強とどうやって両立していましたか？

僕は普段の勉強が疎かにならないように、勉強を軸にしてスキマ時間にCASをスケジュールに組み込んでいました。CASについても最低限必要な数をしっかりとこなせるように、先生とチェックしていました。

2. CASのリフレクションはどうやっていましたか？コツとかありますか？

活動を始める前に決めた目標を達成できるように意識していたので、リフレクションは書きやすかったと思います。大きな目標である必要はないので、目標を明確に持つことがオススメです。あまり難しく考えず、素直にどんなことを学べて、成長できたのかを書ければ大丈夫だと思います！

3. CASで大変だったことはなんですか？

僕がCASで大変だったのは活動を継続することでしたね。特に長期の活動は計画的にやっていかないと継続できないので。例えばServiceでやっていたシェルターでのボランティアは朝が早く、掃除も苦手だったのでモチベーションを保つのが大変でした。あと、学校がドイツにあったんですが、ドイツ語が得意だったわけではないので、人とコミュニケーションを取って、CASに協力してもらうことが大変でした。でも友達と一緒にやっていたので、お互いに助け合いながらなんとか乗り越えました。

4. CASをやっていて良かったことはなんですか？CASはどんな風に活かせると思いますか？

CASをやることで、自分で責任を持って行動をするということが身に着いたと思います。自分で活動を探して、許可をもらって、活動に参加するというプロセスを体験することで、活動を最後までやり通そうという責任感が芽生えた気がします。こういうことはCASがなかったら、自分だけではやらなかったと思うので、CASをやっていてよかったなと思いました。あとは、計画性が身に着きました。活動の時間に間に合うように行動したり、事前に課題を終わらせておいたり、時間の管理ができるないとCASを続けるのは難しいと思うので、CASを通して計画性が身についたんじゃないかと思います。これは大学生になっても必要なので、とても大事だと思います。

5. CASは大学受験でも役立ちましたか？

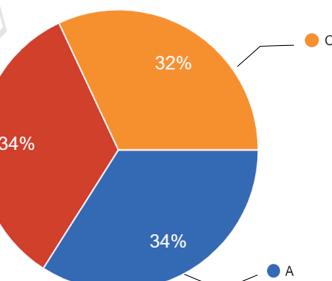
僕自身は直接利用していませんが、日本の大学を受けた他の友達はインタビューとかで内容を聞かれたそうなので、なぜやったのかとか志望理由にどう関連性があるのかについても、日本の大学を受ける人は考えておくといいと思います。

6. CASをやっている、これからやり始める後輩の皆さんに一言お願いします！

何か分からなかったり、活動どうすればいいんだろうと思ったら、先生に相談することが一番だと思います。Creativityで何やれば分からなかった時に、先生と話していく、自分が暇なときにやっていた料理がCASにできることを知りました。自分では意外だったのですが、日常的にやっていることもCASになるのです。まずは聞いてみるといいと思います。

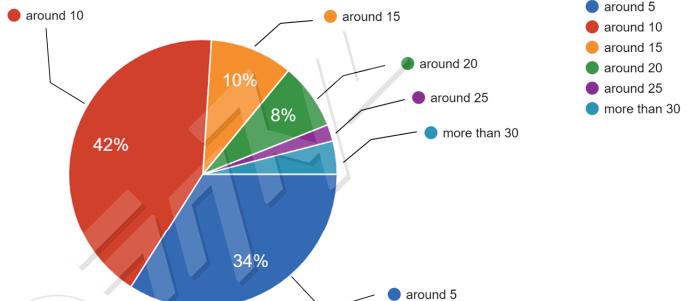
EE・CASに関するアンケート

1. EEのスコアは何でしたか？



平均的にAとBが多いみたいですね！DやEは今回の集計ではいなかったのですが、焦らないでください！順序よくしっかりリサーチし、フォーマットに沿って書くと良い点数が取れるはずです！

2. CASの活動は何個ぐらいやりましたか？



10個ほどCASの活動をやっておくと安心ですね！足りないようだけ気をつけてください！

DP生活で初めてやることになるEEやCASではたくさんの不安があると思います。そこで、EEとCASについて卒業生にコツやEEとCASが将来にどうやって役立つかを聞いてみました。先輩50人にアンケートに答えるも簡単な統計も取ってみたので、これからEEやCASの内容を決めていく際の参考にしてみてください！

Extended Essay

1. EEのテーマと教科はどうやって決めましたか？

教科に関しては、HLの教科で選べたのがEnglish Bだけだったからという感じです。EEをやるときにはHLの教科でやることを学校から勧められたのですが、Mathは苦手で、Japaneseは10年生の時点ではテーマを提出しなくてはいけなかつたので、消去法でEnglishを選択しました。授業で“To Kill a Mockingbird”を見たことがきっかけで、黒人差別をテーマにしました。

2. EEのトピックを選ぶときのコツはありますか？

僕の場合は消去法で決めてしまっていますが、本来は得意な教科で、**自分の興味のあるテーマ**でやることが大事だと思います。あとは、先生のサポートが大事だと思ったので、担当の先生とよく相談すること、あまり難しすぎるトピックを選ばないことも大事だと思います。時間が限られているので、この限られた時間で終えられるものを選ぶべきだと思います。研究とかをしようと思っている人とかは特に、内容が複雑すぎてなかなか終わらない友達がいたので、気をつけて欲しいです！

3. EEをやっていく上のコツはありますか？

当然のことですが、しっかりエッセイを保存することを強調したいです！僕は提出前に保存したものが無くなってしまったことがあったので、後輩の皆さんには気をつけてもらいたいです（笑）

4. EEにかけた時間は実際どれくらいでしたか？

高校2年生の終わり頃にテーマを決め始め、夏休みにドラフトを書き終え、高校3年生が始まって2ヶ月くらいの時に提出しました。

5. EEのスケジューリングはどんな風にしていましたか？

まずは本を読み終えることに集中しました。本を2冊読まなくてはいけなかつたので、勉強の合間をぬって読みました。それ以外は、時代背景などをネットで調べることが中心だったので、準備はそこまで大変ではありませんでした。

6. EEで大変だったことはなんですか？

そもそも僕自身、英語力が高いわけではなかつたので、英語で書くこと自体が大変でしたね。本も2冊読む必要があったので、それも大変でしたが、引用するところを決めるのも大変でした。あとは4000wordsという今までに書いたことのない分量だったので、どんなに書いても終わらなかつたことが辛かったです（笑）テーマを深く掘り下げて、**しっかりアウトライント作ること**をおすすめします。

7. EEで得たことはなんですか？何かに活かせましたか？

達成感だと思います。こんなに長いエッセイを高校生の時に書くということが体験できたのは、貴重だと思います。これは大学に入ってからも使える経験・スキルだと思います。分量の多い、論理的なエッセイを書くことが大学では多いので、いい練習になりました。

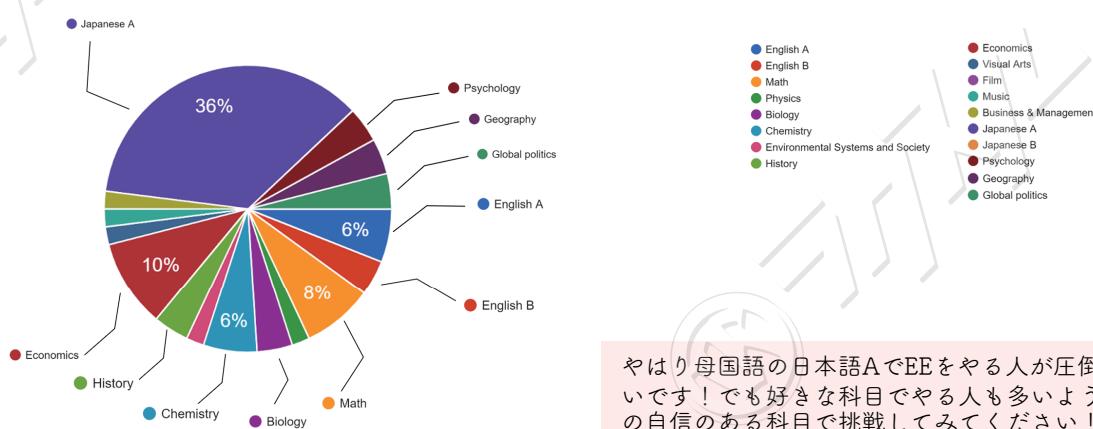
8. EEは大学受験でも役立ちましたか？

友達はEEでやったことを日本語でまとめて提出している人もいました。僕自身はIBを大学受験で使わなかつたので、EEも使うことはなかつたです。

9. EEをやっている、これからやり始める後輩の皆さんに一言お願いします！

CASと同様、先生と相談しながらやっていけば必ずできるので、あまり一人で抱えこまづに頑張ってください！

3. Extended Essayはどの科目で書きましたか？



やはり母国語の日本語AでEEをやる人が圧倒的に多いみたいですね！でも好きな科目でやる人も多いようなので、自分の自信のある科目で挑戦してみてください！



長島先輩

大学: アイントホーフェン工科大学
高校: 立命館宇治高等学校

CAS

CAS活動内容

- **Creativity**: MUN、応援団、ウェブの記事作成
- **Activity**: ハイキング、テニス
- **Service**: 京都マラソンの手伝い、ドッグシェルターでボランティア、京都宇治清掃、TEDxのボランティア

Extended Essay:

科目: Physics

テーマ: 飛行機の羽のカーブについての研究

1. CASと普段の勉強とどうやって両立していましたか？

学校の授業がある日のは、放課後に勉強をして、土日にCASの活動をするようにしていました。

2. CASのリフレクションはどうやっていましたか？コツとかありますか？

私は、後でまとめてリフレクションを作っていました（笑）ただ、時間が経つとどうしても忘れてしまうことが増えるので、忘れないうちに書いておくといいと思います！

3. CASで大変だったことはなんですか？

CASではあまり苦労したという記憶はありません。学校全体でCASをサポートしてくれたので、やることが思いつかないときは、学校がやることを提供してくれました。

4. CASをやっていて良かったことはなんですか？CASはどんな風に活かせると思いますか？

CASのいいところは幅広い経験ができる事だと思います。大学生になって思いましたが、時間のある高校生の間にいろいろなことに挑戦するきっかけになりました。身近なこと・シンプルなことでいいので、それをCASにしてみると、新たな発見に繋がると思います！

5. CASをやっている、これからやり始める後輩に一言お願いします！

私の弟もIBを今やっているのですが、CASを通じて、動画制作が楽しいということに気づいたみたいです。自分の興味を持っていることを見つけるきっかけになったりもするので、普段やらないことにも手を伸ばしてみてください！

Extended Essay

1. EEのテーマと教科はどうやって決めましたか？

私はPhysicsが得意教科だったのでPhysicsでやることにしました。トピックに関しては、飛行機に興味を持っていたというのと、過去に先輩が浮上力についてのEEをやっている人がいたというのがきっかけです。

2. EEのトピックを選ぶときのコツはありますか？

まずは自分の好きなことで出来そうなテーマを探してみるといいと思います。あと、私にはEEの先生が2人ついていたんですが、一人の先生は大学で飛行機を研究している人だったので、安心してこのトピックで進めることができました。どのくらいサポートが先生から得られるかを確かめることも重要だと思いました。

3. EEをやっていく上でのコツはありますか？

シンプルにできるように考えるのがコツだと思います！実験は終わったらすぐにそれについて書けるもの、手際よくできるものにした方がいいと思います。Biologyをやっている友人は植物を育てるのに時間がかかるので、大変そうでした。

4. EEにかけた時間は実際どれくらいでしたか？

高校2年生の秋にテーマを決め、高校3年生が始まっています書き始めました。夏休みが終わる前に提出したと思います。

5. EEのスケジューリングはどんな風にしていましたか？

EEを書く時期がTOK presentationとJapaneseの Written Assignmentなどと被っていたので、自分でモデルを作って実験を行うのに凄く時間がかかっていることがストレスでした。でも先生が前もって助けてくれたおかげで、乗り越えられました。一方で、実験が終わったことに安心して、実際に執筆するのをギリギリまで残してしまったので、先にコツコツと終わらせておけばよかったなと後悔しています（笑）

6. EEで大変だったことはなんですか？

リサーチクエスチョンを決めることが大変でした。丁度同じ時にIAのテーマも決めなくてはいけなかったので、テーマが決まらなくて頭がパンクしてしまった記憶があります。

7. EEで得たことはなんですか？何かに活かせましたか？

自分の中に自信が生まれたと思います。とても大変でしたが、最初から最後まで、自分でやりたげたことに自信を持てました。

8. EEをやっている、これからやり始める後輩の皆さんに一言お願いします！

テーマを早めに決められれば、書くことに余裕が持てると思います！がんばってください！



岩田先輩

大学:国際基督教大学

高校: St. Mary's International school

CAS活動内容

- **Creativity** : ハンドベル(2年間毎日40分ぐらい)
- **Action** : サッカー(毎日練習)、テニスを教える
- **Service** : Green club (古紙回収してリサイクル、2年間)、文化祭の時種を提供(広報みたいな感じ)

Extended Essay:

科目 : Japanese A Language and Literature

テーマ : 漢字と男尊女卑の文化の関係性」について

CAS

1. CASと普段の勉強とどうやって両立していましたか？

ハンドベルを毎日練習していたのですが、授業の一環でしたし、自分の好きなことだったので、両立て苦労した記憶はありませんね。でもコンサートがあると、その分練習しなくてはいけないので、課題が重なって徹夜をするときもありました。そうならないよう、コンサートがある時は、この日に練習するって決めて、前もって集中して終わらせるようにしていました。

2. CASのリフレクションはどうやっていましたか？コツとかありますか？

リフレクションは定期的に提出するよう決まっていたので、学校に言われたタイミングで出すようにしていました。自分の活動との関係性、どういう貢献をしているのか、役割があるのかを考え、自分がどのように成長したのかを書くとたくさん書けると思います。

3. CASで大変だったことはなんですか？

大変だったことはCASで何をやるか決めることでした。あとは自分で企画して自分で実践するのが難しかったです。先生に相談して、施設を借りて、自分で全てをオーガナイズしなくてはいけないっていうのが。

4. CASをやっていて良かったことはなんですか？CASはどんな風に活かせると思いますか？

でも大変だった分、やりがいは凄くありました。CASでやることは全て自分の成長に繋がると思います。音楽活動で部長を経験して、リーダーシップを身につけたことで、サークルでみんなをまとめている先輩の気持ちが理解できたり、アルバイトでも人の管理をする立場に立つようになりました。あと、他の人がやってないことをやってきたというユニークなポイントが自信にも繋がりました。

5. CASをやっている、これからやり始める後輩に一言お願いします！

楽しんでください！自分のライバルを見つけてください！この二つがあればモチベーションを保つことができると思います。

Extended Essay

1. EEのテーマと教科はどうやって決めましたか？

高校1年生の時に漢字の面白さを学び、日本の文化について学んでみたいと思いました。Japaneseが得意な教科というわけではありませんでしたが、興味を持ったトピックだったのでこの教科にしました。実はこれ2個目のトピックなんです。初めに決めたテーマが参考文献が無くて、これじゃできないなと思ったので、すぐに切り替えました。こういうこともあります。リサーチを始めてできなかったってなると焦ってしまうので、早めにトピックを決めるといいと思います。

2. EEのトピックを選ぶときのコツはありますか？

母国語のJapaneseを選ぶことで、少し言語での不安がなくなるというはあると思います。また僕の場合、Japaneseの先生が偶然EEの指導経験も豊富な先生だったのですが、これも安心できる要素になったと思います。

3. EEをやっていく上のコツはありますか？

EE以外で4000字以上書くという経験はなかったので、書き方はやりながら学んでいく感じでした。プロットを考えて、どういうアプローチでトピックを答えていくかをしっかり決めることで、より書きやすくなると思います。

4. EEにかけた時間は実際どれくらいでしたか？

高校2年生の夏休み前(4月)にテーマを決め始め、6月にはテーマを決め終わって、高校3年生になる夏休み(6月~8月)にエッセイを書き終えました。

5. EEのスケジューリングはどんな風にしていましたか？

夏休み中だったので時間はたくさんあったのですが、IAなどの提出と重ならないように、EEはなるべく早めに終えるように意識しました。夏休み中にも先生と連絡を取りながら、チェックしてもらいました。

6. EEで大変だったことはなんですか？

参考文献の中から実際にエッセイに使えるものを探すのが大変でした。図書館に行って、本を読んで取り寄せもらったりしてできるだけ沢山の資料に目を通していました。EEで初めて図書館に行きました。

7. EEで得たことはなんですか？何かに活かせましたか？

参考文献の使い方と論文の書き方が学べたことだと思います。大学でも使うスキルなので、事前に知っておくことで、他の生徒より有利だった気がします。自分の主張の信頼性を上げるために他人の意見を引用することはやっぱり難しいので。

8. EEをやっている、これからやり始める後輩の皆さんに一言お願いします！

興味あるトピックを決めて、それについてしっかりリサーチすること！やればできるので、やりながら学んでいってください！視野を広げて、いろんな知識を得てください！

大學生生活に不安を持っていませんか？なかなかイメージしづらいですよね。そんな方のために、IB卒業生の2名に国内大学と海外大学での生活について聞いてみました！

海外大学編

菅井先輩 [リーズ大学 Business and Management with Marketing 2年生]
立命館宇治高校出身



なぜリーズ大学を選んだのでしょうか？

他の国の大学も検討しましたが、昔イギリスに住んでいたこともあって、最後はイギリスを選びました。イギリスでは、まとめて5校まで出願できるので、他のイギリス内の大学にも出願しました。その中でも私の通うリーズ大学 (University of Leeds) は生徒が主体的に活動をしていて、生徒の声が大きく反映されているのが魅力的でしたね。実際に、コロナなどの状況で大学の対応に疑問を持つこともありますが、生徒が助け合う姿が多くあって、大学に入った後も想像していた通りな大学でした。



Study

大学では何について学んでいますか？

今は、Marketingを中心に学んでいますが、Managementについての授業もあります。専門的な内容と同時に、心理学などをManagementの視点から勉強することもあり、様々なクラスがいろいろなことを学んでいます。

IBの経験が役に立ったエピソードはありますか？

私はIBでBusinessの授業を受けていたので、大学に入る前に基盤を作れた感じでした。大学では、深く掘り下げるでの基盤をあらかじめ作ってあったという面では、IBの学習が役に立ったと思います。

勉強内容だけではなくて、IBでの生活で日々培うスキルも大きく役立っていると感じます。例えば、IBではCritical thinkingをたくさん練習したり、TOKで深く物事を考えると思います。大学でも、深く考え、Critical thinkingを活用することが多くあるので、IBでの経験が活かされているなと感じました。

授業の雰囲気はどんな感じですか？

いろいろな授業がありますが、300人くらいの大教室での講義もあって、そういった授業では教授との距離を感じます。特に、私のIBクラスは少人数だったので先生とも距離が近かったため、より一層そう感じるのかもしれません。ですが、セミナーのような授業では少人数でディスカッションをしたりするので、そういった授業は教授や生徒との距離は近くて楽しいですよ。



Life

リーズでの生活はどうですか？

リーズでの生活も充実しています。比較的都会なので、時間があるときは友達とショッピングをしたり、他の国に旅行をしたりと時間を有意義に使っています。ただ、天気が本当に悪いことが多くて。天気で気分が左右される人には、イギリスはおすすめしないかもしれません…（笑）

サークルには所属していますか？

ファッションサークルに所属しています。サークルでは、ゲストスピーカーを呼んで持続可能性という視点からファッションを学んだり、swapという服を交換し合う活動をしています。

初めての一人暮らしはどうですか？

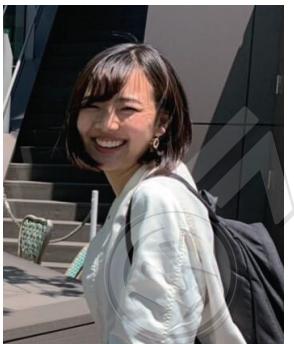
1年生の時は寮で過ごし、2年生から友達とルームシェアをしているので、寂しいということはありません。反対に、周りに友達がいるので楽しいです。寮には様々な国の生徒がいて、みんな価値観が違っていて楽しいですよ！価値観は違うけど、他の人を受け入れたいという気持ちの人が多いし、学ぶことが本当に多いです。もちろん、テスト週間になると家事と勉強を両立させるのは難しいですが、普段は一人分の家事だけなので、そこまで大変ではないです。

一人暮らしで大変なことってなにがありますか？

今回のコロナ禍のような事態になった時に自分で決めて行動しなければいけないということです。一人暮らしはなんでも自分で決めるのが利点で楽しいところですが、こういう状況になった時、自分だけが頼りというのが大変だと思いました。

国内大学編

岡本先輩 [慶應義塾大学法学部政治学科 4年生]
ACS Hillingdon International School出身



なぜ慶應義塾大学を選んだのでしょうか？

IBでHistoryを取っていて、その中で20世紀前半のドイツ、ロシア、中国などにおける権威主義体制の成立に興味を持ち、大学でもっと深く学びたいと思いました。地域研究にも興味があり、**学科を決めてから大学を探しました**。他にも、私の周りに慶應に通っている人が多く、色々な場面で慶應を見ることが多かったのもあるかもしれません。早稲田大学とも迷っていたのですが、比較的の人数が少なく、高いビルが少ないキャンパスの雰囲気が好きで、最終的には慶應大学を選びました。



Study

大学では何について学んでいますか？

主に、政治学を学んでいます。ゼミでは比較政治学を勉強していて、権威主義体制の国家の経済政策について研究しています。他にも、台湾や中東諸国の地域研究の授業を選択したり、一般教養として文学の授業を選択したりしているので、様々な分野のことを広く学んでいます。

授業の雰囲気はどんな感じですか？

IB生にとって、最初の1年くらいははつまらなく感じる人もいるかもしれません。IBの授業に比べると、ディスカッションも少ないし、クラスの人数も200人とか多いです。でも、2、3年生になると少人数のクラスも増えて、ディスカッション形式の授業に変わってくるので、面白くなってきますよ。大学側も授業の改革を進めているようで、1、2年生から受けられる少人数の授業も増えてきました。だから、自分の**授業の選択の仕方で授業の面白さは本当に変わる**と思います！

IBの経験が役に立ったエピソードはありますか？

IBを経験していたからか、大学に入ってもそこまで大変ではなかったですね。日本の大学は、1・2年生で基礎からカバーするのでそこまで焦ることはないと思います。大学の試験も記述式のが多いんですけど、IBでwritingをたくさんして**コツを掴んでいた**から本当に助けられました。参考文献の使い方とか、タイムマネジメントとか、IBでやってきたことが活かされているなと思います。

IBでこうしておけばよかったという後悔は何かありますか？

大きな後悔はないですが、今思うと**Math SL**で満足せず、高校のうちにもっと数学を勉強すればよかったと感じています。日本の高校で学ぶ数学に比べると、Math SLでカバーする内容は少なくて、他の学生に比べると計算や数学的考え方方が不十分になってしまったかもしれません。特に、就職活動をする際、企業によっては学力テストを受けなければなりません。そのときに簡単な計算問題が出ることがあるのですが、IBで計算機を使うことに慣れてしまうと計算を間違えたり遅くなったりということがありました。



Life

サークルには所属していますか？

「出版甲子園」というインカレの学生団体に所属していました。早稲田大学の団体なのですが、慶應をはじめとして色々な学生が参加しています。本を書きたい人と出版社を繋げるという活動をしてました。慶應の中にも本当に多くのサークルがあります。スポーツのサークルはもちろん、登山やアカペラ、ダンス、アイドルなどなど、数えきれない数のジャンルのサークルがあつて、たぶん知らないサークルの方が多いくらい（笑）サークルというと遊びのイメージが強いかもしれません、**アナウンサーを目指す人や弁護士を目指す人などがそれぞれ集まる**勉強サークルも慶應には多くあって、そこで時間も大学での楽しいことの一つだと思います！

授業がない時はどのように時間を過ごしていますか？

慶應の**図書館を利用**することが多いですね。そこでインターンの仕事をしたり、本を読んだり。本当にたくさんの本があるので、いろんなものを読んでみたり。クラシックな漫画に手を出してみたり。これは真面目な時のルーティンですが……。もちろん、**友達と一緒にカラオケに行ったりして息抜き**することもあります（笑）大学生になってバイトも始めたり、自分で時間管理をすることが増えましたね。

大学生になって大変なことってなにありますか？

私は、高校が海外で日本の一條校ではなかったので、そこも違うところがあるかもしれません、圧倒的に**時間の使い方が変わりましたね**。勉強以外の時間が増えて、IBの時みたいに勉強だけに拘束された生活ではなくなったかもしれません。その分、机に向かって勉強する時間は減りましたが、**遊びや仕事を通して学ぶ**ことが多くなりましたね。他にも、高校生の時って答えがある問い合わせを考えることが多かったかもしれません、大学生になると簡単に答えが見つからなかったり、答えがない問い合わせあって**答えがないことを悩む**ようになりましたね。

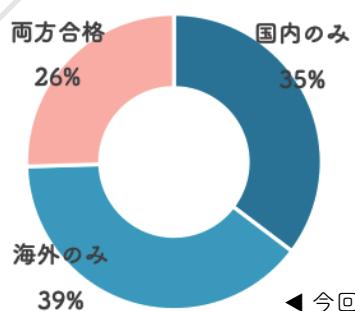
IB一条校の卒業生51名を徹底調査！人気の大学は？ 合格者の点数目安は？

一条校でIBDP取得を目指している高校生の方にとって、やはり気になるのは大学進学に関する情報ではないでしょうか。今回、EDUBALでは「一条校でIBDPを取得した人」を対象に合格した大学の調査を実施しました。限定されたデータですので、これが全てというわけでは決してありませんが、皆さんの参考になれば幸いです。

調査方法：①IB一条校出身の大学生に対するアンケート調査、および②EDUBALの家庭教師登録データを併用

①に関しては、合格した大学を全て列挙していただきました。②では、合格した大学は最大3校登録されています。有効データ数は51名（2016年以降に大学入学した人に限定）でした。

今回集計したデータについて



今回集まったデータの中で、「国内大学のみ合格」「海外大学のみ合格」「国内・海外両方合格」の割合は左の円グラフの通りでした。国内大学の合格者と、海外大学の合格者がほぼ同数のデータとなっています。

また、今回集計したデータでは、IBDPの平均点が35点となっています。家庭教師として登録している人のデータが含まれていますので、平均点が高くなっていること、合格した大学に偏りがある可能性があることに注意してください。

◀ 今回の調査対象51名の合格大学の内訳

国内大学の人気校、合格者の点数の目安は？

大学名	国私立	人数	平均点数	点数最小値	点数最大値
早稲田大学	私立	10人	32.9	27	41
慶應義塾大学	私立	8人	33.6	30	37
上智大学	私立	7人	38.0	31	42
岡山大学	国立	4人	36.0	34	39
北海道大学	国立	4人	38.3	36	41

上記の表は今回調査したデータを元に、合格した人数が多い順に国内大学を並べたものです。最も人数が多かったのは早稲田大学でした。その中の学部を見ると、国際教養学部と理工学部がほとんどでした。国際教養学部では国内選考と国外選考の2種類のAO入試を実施しており、一条校でDPを取得した場合、両方に出願できます（2020年度入試要項で確認）。合格者のIBDPの点数の幅が大きいことから、点数以外の要素（志望理由書や筆記試験）が重視されているのではないかと推測できます。

次に人数が多かった大学は、慶應義塾大学です。学部別では、SFCの2学部のほか、法学部が多くなっています。SFCにある総合政策学部・環境情報学部では、AO入試にIB方式があります。また、同大学には法学部にもIB入試が存在しますが、Predicted Gradesでの出願が出来ないことに注意が必要です。

国公立大学では、岡山大学と北海道大学の人数が多いという結果に。国立大学として初めてIB入試を導入した岡山大学では、ほとんどの学部でIB入試が実施されており、とてもIBフレンドリーな大学として知られています。

北海道大学の人数が多かったのは意外に思った方もいるかもしれません。北海道大学の「国際総合入試」は、名前こそIB入試ではないものの、「DPの取得」または「SATの受験」が必須となっており、IB生のための入試方式と言えます。この入試方式で合格すると、「総合入試文系」または「総合入試理系」に入学します。1年次は総合教育学部で教養科目と基礎科目を中心に学び、2年次に専攻する学部学科に移行するので、じっくり自分の学びたい学問領域を決めたい人にとっても嬉しいシステムです。

■ 海外大学の人気校、合格者の点数の目安は？

大学名	国	人数	平均点数	点数最小値	点数最大値
University of Toronto	カナダ	10人	36.9	29	43
University of Melbourne	オーストラリア	5人	36.4	31	42
University of British Columbia	カナダ	3人	36.0	32	39
National University of Singapore	シンガポール	3人	41.0	40	42
University College London	イギリス	3人	39.3	36	42

上記の表は、今回調査したデータを元に、合格した人数が多い順に海外大学を並べたものです。海外大学は非常に数も多く、合格した大学も分散してしまいましたが、最も人数が多いのはトロント大学という結果でした。トロント大学を始めとするカナダの大学は、とてもIBフレンドリーだとされています。合格者の点数の幅も非常に大きく、DPの点数だけにとらわれずに選考していることが伺われます。

カナダと同じくIB生の留学先として人気のオーストラリアの中では、メルボルン大学がもっとも人数が多くなりました。こちらも合格者の点数の幅が大きく、IBフレンドリーな大学だと言えます。

今回の調査で3人の合格者がいたUCLは、イギリスではOxBridgeに次ぐ名門校で、世界ランキングでも10位以内に入ります。さすがに合格者の得点も高いですが、世界の名門大学を目指している人にはオススメできる大学です。

■ IBを活用して大学進学を目指しましょう！

せっかくIBDPの取得を目指して日々勉強するのなら、IBを活用して大学進学したいと思うものですね。今回の調査では、一条校でIBを取得した卒業生がどんな大学に合格しているのかを調査しました。世界でIBフレンドリーと言われている大学は、IBDPの最終的な点数だけでなく、志望理由書など他の要素も考慮して合格者を決めています。もちろん、精一杯努力して、高得点を目指して欲しいですが、大学進学では点数だけが重要ではない、ということも覚えていてほしいと思います。

お知らせ News

Univ-it!公式ブログでは、一条校以外のIB生150人のデータを調査した結果も記事にしています。ぜひチェックしてみてください。▶



■ 国際基督教大学（ICU）で、IB生のための新入試が始まります！

国内では珍しい、リベラルアーツ大学として有名な国際基督教大学（ICU）。今年3月にイギリスの高等教育専門雑誌「Times Higher Education(THE)」が発表した「THE世界大学ランキング日本版2020」では、私立大学として2年連続1位を獲得し、話題となりました。

そんな国際基督教大学で、2021年度入試から、総合型選抜（2020年度入試までの名称：ICU特別入学選考（AO入試））の一つとしてIB生を対象とした「総合型選抜（IB認定校対象）」の募集が開始されます。国際基督教大学の掲げる使命や理念、リベラルアーツ教育とIBの理念は深く通ずるところがあり、IB生に適した環境が整っています。ぜひ一度チェックしてみてはいかがでしょうか。

こちらの入試制度では、IBDPを取得（または取得見込み）、かつ日本語AのHL・SLいずれかを履修済み（または履修中）であることが出願の条件となっています。尚、総合型選抜は「ICUを第1希望とし、合格した場合はICUへ入学することを確約できる」方を対象とするものですが、IB生が活用できる入試制度には、他にも4月入学帰国生入学試験やEnglish Langauge Based Admissions (April/September Entry)などがあります。ご自身の教育背景や適性を生かせる制度での出願をご検討ください（詳細は大学HPを参照）。

EDUBAL公式ブログでは、国際基督教大学の魅力などを解説した記事を掲載中。こちらもぜひチェックしてみてください。▶



EDUBALからのお知らせ



IB生のための大学検索サイト Univ-it!

IB生のための大学検索サイト Univ-it!（ユニビット）では、IBDPを履修している高校生の皆さんのが受験可能な大学・学部を検索できます。公式ブログでは、IB受験や海外大受験に関する情報を更新中！「Univ-it!」で検索か、左のQRコードからアクセスできます。



ご意見・ご感想お待ちしております。

EDUBAL Magazineをお読みいただき、誠にありがとうございます。今後もIB生の皆さんに役立てていただける情報を届けていきます。ぜひ、ご意見やご感想などお気軽に寄せください。左のQRコードからアンケートにアクセスできます。

発行者：
オンライン家庭教師EDUBAL



編集者：

近藤由歩（玉川学園 2018年DP取得）
杉本莉彩（玉川学園 2020年DP取得）
長尾咲希（玉川学園 2016年DP取得）